

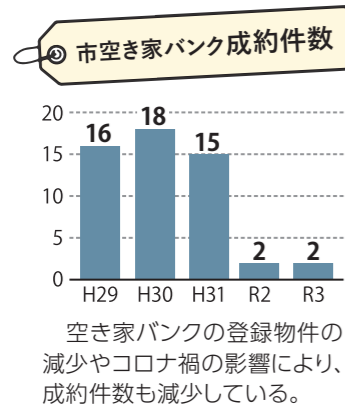
「良い“人と家”に巡り合えたよね」  
「ここが終のすみかだね」  
「愛着のある家がなくなるのはさみしかけん」



🏠 借主  
緒方 徹さん 愛美さん(南古閑)



🏠 大家  
田代博巳さん(南古閑)



**今後の活用が重要**

市では問題解決につなげようと、移住定住推進事業の一つとして平成27年に「菊池市空き家バンク」を開設しています。市内の空き家や空き地の情報を市のホームページに掲載し、購入・賃貸希望者へ情報を提供。市と不動産業者との協定に基づく連携により、貸し手と借り手をつなぎ、希望者のニーズに合った物件が探しやすくなっています。今後の活用が重要となっています。行政、民間、地域が一丸となって解決に向けて取り組んでいくことがますます重要になってきています。

今後の活用が重要

住人がいない家屋は状態や景観の劣化が早く進み、地域住民の生活環境に影響を与えます。取り組みが進む空き家バンクと、そこで生まれた人との出会い、地域のつながりについて紹介します。

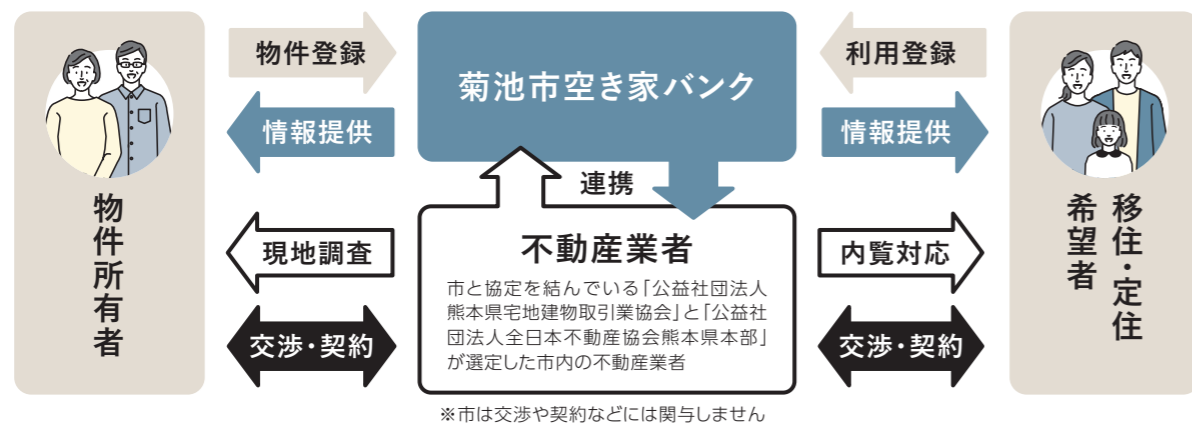
【問い合わせ先】集落・定住支援室 ☎0968(25)7250

**良い人に  
出会うことができた**

平成29年3月に東京都から移住した緒方徹さん・愛美さん夫婦(南古閑)。市の空き家バンクを利用し現在の家に住んでいます。「高校卒業後に上京しデザイナーとして働いていましたが、緑や自然に触れる時間がほしくて故郷の熊本に帰りたいと考えていました。そんな時に今の家に出会ったんです」と徹さんは振り返ります。「近所付き合いが不安でしたが、住んでみると大家さんを含めとても温かく、親切で助かっています」と愛美さんも笑顔を見せます。

「住む人がおらず、どうしようか迷っていて、市の担当者に相談していたんです」と話すのは緒方さん夫婦に家を貸している田代博巳さん(南古閑)。「どういった人が来るのか不安もありましたが、良いご夫婦に出会うことができました。積極的に行事にも参加してくれて、地区が明るくなった気がします」

年々増加する空き家は全国的に社会問題となっており、総務省の「住宅・土地統計調査」によると平成30年には846万戸を突破。平成25年に比べ26万戸(3・2%)も増加しています。総家屋数に対する空き家の割合も13・6%と過去最高を記録。市では約10戸に1戸が空き家(平成30年時点)になっており、高齢化と人口減少により今後も増えると予想されています。



# 地域をつなぐために—

今後も増えることが予想される空き家。  
利活用やトラブルの防止のために市では取り組みを進めています。



9月には旭志公民館で「空き家の利活用に関するセミナー」を開催。今後、TSMC関連企業の進出により人口流入が見込まれる

**家の将来を考える**  
住み替えや所有者が亡くなるなどして空き家が増える中、管理が不十分で近隣住民から「壊れそうで危ない」「草木が生い茂り、虫の発生が心配」といった相談が寄せられることも。空き家になって3年が過ぎると腐朽・破損の発生率も格段に上がります。自分や家族が将来どうするかを考えながら、家の将来についても一緒に考える必要があります。「空き家を貸すことに不安や抵抗がある人もいるため、紹介できる物件は不足しています」と話すのは集落・定住支援室の川上篤主任主事。空

き家に関する相談の受け付けや出前講座を行っています。「売却や購入で奨励金が出ることもあります。今後の管理を検討している人は私たちに相談してほしいです」  
**貸し手と借り手、地域をつなぐために**  
「空き家を持つている人はこれから5年、10年先を見据えながら管理を考えていかなければいけませんね」と空き家バンクを利用した田代さんは話します。紹介できる物件が少ないのは、受け入れる住民も、空き家の所有者もどんな人が来るのか不安に思う人が多いからかもしれません。「でも、愛着のある家がなくなるのは寂しいじゃないですか。うちの区は緒方さん夫婦が来てくれてみんな喜んでいきますよ。こんな人たちがもっと地域が増えてくれるとうれしいですね」  
貸し手と借り手、地域をつなぐために—。空き家のことを考えてみませんか。



築52年の家が夫婦の手でオシャレな空間に

**以**前は熊本市に住んでいましたが、空き家バンクを利用して昨年の3月に家を購入しました。最初は賃貸の物件を探していましたが音を気にせずのびのびと子育てをしたいという思いがあり、一軒家を購入しました。壁や天井をなくし空間を広げるなど、自分たちでリフォーム

ムしています。子育ての合間に夫婦で家を作っていくのが日々の楽しみです。二人とも電気工事業の会社に勤めていて資格を持っていたことから、移住を機に起業しました。電気、水道、エアコンなどの設備工事やリフォームなどの仕事をしています。物件購入の際にお世話になった皆さんからもご縁をいただき、仕事も順調です。住んでいる地域は保育園も近く、子育てしやすい環境です。子どもと一緒に歩いていると近所の人たちは優しく声を掛けてくれるのでうれしいですね。食べ物もおいしく、引っ越して良かったです。

## 菊池は子育てがしやすい環境です

一軒家を購入  
狩野弘樹さん 唯さん(巨)  
七星ちゃん



## 移住者に聞く「きくち暮らし」

空き家バンクを利用して菊池で暮らし始めた人に、住んでみて感じたことや魅力を聞きました。

**市**の地域おこし協力隊として着任したのがきっかけで、空き家バンクを利用して、平成30年3月から家を借りています。以前は東京で働いていましたが、菊池は時間的にも空間的にもゆとりを持っていいなと思います。温泉街から離れたところにも多数源泉があり、毎日温泉に入ってから仕事へ行くという温泉好きの私には最高の暮らしが送れています。  
住んでいる地域はとてもアットホームで、野菜や漬物などを



借りている自宅

もらっています。近所の方もキユーにもよく誘っていただいていますよ。草刈りや行事に参加したり、地域の消防団に入団したりして、地域の一員として活動しています。普段生活しているだけじゃ話すことがないような人ともつながることができてうれしいです。  
昨年9月に空き店舗を活用して、花房郵便局の近くに「珈琲・喫茶 鈴屋」をオープンしました。これからも長く続けていきたいですね。



珈琲・喫茶 鈴屋の店内

## 地域とのつながりがうれしいですね

「珈琲・喫茶 鈴屋」店主  
草野優二さん(下赤星)



空き家のお悩みがあれば、気軽にご相談ください!



川上 篤主任主事

移住定住支援員 佐々万里さん

空き家バンクに関する市の奨励金や補助金を紹介します。

### 移住定住推進事業奨励金

#### 購入者

【対象】 次のいずれかに該当する人

- 空き家バンクを利用して空き家を購入した人
- 空き家バンクを利用して空き地を購入し、住居を新築した人

#### 【奨励金】

15万円と市内共通商品券5万円分

#### 売却者

【対象】

空き家バンクを利用して空き家、または空き地を売却した人

【奨励金】 5万円

### 定住促進空き家改修補助金

【対象】 次のすべてに該当する人

- 空き家バンクを利用して空き家を購入した人
- 40歳以下の人(交付申請日時時点)

#### 【補助金】

補助対象経費の3分の2で上限30万円

市移住定住ホームページ

「きくち暮らしのすすめ」

交付の要件や申請期間など、詳細は上記ホームページから検索してご覧ください。空き家バンクの情報も掲載しています。



奨励金(購入者)



奨励金(売却者)



改修補助金